



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 マーチヤント・バンカーズ株式会社  
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 一木 茂  
 (氏名) 高崎 正年

TEL 03-5224-4900

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	542	△25.9	△41	—	△50	—	△53	—
28年3月期第1四半期	732	13.7	8	—	1	—	20	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △83百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	△1.99	—
28年3月期第1四半期	0.91	0.91

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第1四半期	5,671	2,713	47.8	101.59
28年3月期	5,339	2,797	52.4	104.72

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 2,712百万円 28年3月期 2,796百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,922	34.0	52	234.9	27	—	11	14.0	0.42
通期	3,212	△6.2	87	24.4	46	23.0	13	7.3	0.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	27,115,056 株	28年3月期	27,115,056 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	413,570 株	28年3月期	413,490 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	26,701,558 株	28年3月期1Q	22,201,783 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当第1四半期」)の我が国経済は、緩やかな回復基調が続いておりますが、アジア新興国や資源国等の景気の下振れや英国のEU離脱問題に伴う海外経済の不確実性の高まりや金融市場の変動などが、我が国経済の景気の下押しリスクとなっております。当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、海外経済の不確実性の影響を受けつつも、概ね堅調に推移しているといえます。

このような経済状況のもと、当第1四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、ホテル等の事業所の採算維持・向上のための施策並びに食品製造機械の生産・受注活動など、経常的な収益力を強化するための取り組みを積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期の当社グループの業績は、オペレーション事業における事業所の契約満了やマニュファクチャリング事業における納品のタイミングによる影響により、売上高542百万円(前年同期比25.9%減)、営業損失41百万円(前年同期は営業利益8百万円)、経常損失50百万円(前年同期は経常利益1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失53百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円)と、前年同期に対し、減収減益となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

#### (マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第1四半期は、新たに京都市左京区所在の賃貸用マンション並びに大阪市天王寺区所在の賃貸用マンションを取得し、経費9百万円を負担した結果、売上高79百万円(前年同期比1.8%増)、セグメント利益16百万円(前年同期比31.4%減)と、前年同期に対し、増収減益となりました。

#### (オペレーション事業)

当社グループは、当社及び株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場及びインターネットカフェ店舗の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第1四半期は、前年同期と比較して宿泊施設における宿泊実績の落ち込みがみられるとともに、平成28年3月に「国民宿舎マリンテラスあしや」が契約満了となったこと、また、宿泊施設の改修のための支出を行った結果、売上高448百万円(前年同期比17.3%減)、セグメント利益6百万円(前年同期比63.0%減)と、前年同期に対し、減収減益となりました。

#### (マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社(東京都青梅市)において、食品製造機械の製造、販売を行っております。

当第1四半期は、受注の納品、検収が第2四半期にズレ込むことにより、売上高14百万円(前年同期比87.1%減)、セグメント損失21百万円(前年同期はセグメント利益2百万円)の減収減益となりました。

当事業部門の業績は、受注製品の納品や検収のタイミングにより変動することがありますが、当第1四半期におきまして、当期中に納品を見込んでいる製品の受注並びに生産は順調に進捗しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は5,671百万円で、前連結会計年度末に比べ331百万円増加しております。現金及び預金の減少396百万円、受取手形及び売掛金の減少94百万円、有形固定資産の増加744百万円、その他流動資産の増加46百万円が主な変動要因であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は2,957百万円で、前連結会計年度末に比べ415百万円増加しております。長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加527百万円、その他流動負債の減少95百万円が主な変動要因であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は2,713百万円で、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しております。親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少53百万円、その他の包括利益累計額の減少30百万円が主な変動要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日付当社「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した連結業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年（平成28年）3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,240,180	843,478
受取手形及び売掛金	208,760	113,795
営業投資有価証券	373,424	341,180
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	2,175	2,090
仕掛品	40,789	113,147
原材料及び貯蔵品	16,791	19,475
その他	82,116	128,377
貸倒引当金	△870	△769
流動資産合計	2,013,367	1,610,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,465,543	1,901,691
土地	1,484,859	1,776,957
その他(純額)	108,423	124,297
減損損失累計額	△129,489	△129,489
有形固定資産合計	2,929,337	3,673,457
無形固定資産		
のれん	254,420	241,151
その他	723	669
無形固定資産合計	255,143	241,820
投資その他の資産		
投資有価証券	24,956	24,956
敷金及び保証金	92,853	95,853
その他	25,694	26,209
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	141,585	145,100
固定資産合計	3,326,067	4,060,378
資産合計	5,339,435	5,671,153

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	97,327	85,323
1年内返済予定の長期借入金	115,884	150,472
未払費用	120,853	107,436
賞与引当金	3,900	11,400
役員賞与引当金	900	1,830
その他	289,905	194,637
流動負債合計	628,770	551,100
固定負債		
長期借入金	1,724,779	2,217,972
長期預り敷金保証金	63,335	66,948
退職給付に係る負債	30,050	30,770
役員退職慰労引当金	10,600	10,600
その他	84,580	80,126
固定負債合計	1,913,345	2,406,417
負債合計	2,542,115	2,957,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,700,970	2,700,970
資本剰余金	270,000	270,000
利益剰余金	△84,389	△137,502
自己株式	△83,349	△83,364
株主資本合計	2,803,232	2,750,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,056	△37,612
その他の包括利益累計額合計	△7,056	△37,612
新株予約権	1,144	1,144
純資産合計	2,797,319	2,713,636
負債純資産合計	5,339,435	5,671,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	732,055	542,397
売上原価	303,314	198,831
売上総利益	428,740	343,566
販売費及び一般管理費	419,831	384,643
営業利益又は営業損失(△)	8,909	△41,076
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	33	0
貸倒引当金戻入額	0	100
未払配当金除斥益	291	232
その他	708	380
営業外収益合計	1,034	713
営業外費用		
支払利息	5,865	6,418
支払手数料	2,874	3,336
その他	—	244
営業外費用合計	8,740	9,999
経常利益又は経常損失(△)	1,202	△50,362
特別利益		
新株予約権戻入益	6,900	—
投資有価証券売却益	17,400	—
その他	200	—
特別利益合計	24,500	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,702	△50,362
法人税、住民税及び事業税	5,459	4,034
法人税等調整額	87	△1,283
法人税等合計	5,546	2,750
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,156	△53,113
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	20,156	△53,113



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,156	△53,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,427	△30,555
その他の包括利益合計	6,427	△30,555
四半期包括利益	26,583	△83,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,583	△83,668

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャット ・バンキング 事業	オペレーショ ン事業	マニユファク チュアリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	77,833	542,799	111,421	732,055	—	732,055
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	77,833	542,799	111,421	732,055	—	732,055
セグメント利益	24,518	18,692	2,571	45,782	△36,873	8,909

(注) 1. セグメント利益の調整額△36,873千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャット ・バンキング 事業	オペレーショ ン事業	マニユファク チュアリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	79,226	448,805	14,365	542,397	—	542,397
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	79,226	448,805	14,365	542,397	—	542,397
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	16,813	6,910	△21,035	2,687	△43,764	△41,076

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△43,764千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。